

## VI. イデアス研修事業

### 2019年度貿易・投資実務家等養成研修（イデアス研修）プログラム実施内容

#### 1. 事業主旨

アジア、アフリカ諸国の貿易投資行政に携わる中堅行政官および日本国内の人材の政策立案能力向上を目的とし、アジア経済研究所の研究資源およびジェトロの海外ネットワークを活用した人材能力開発研修事業を実施した。2019年度は、昨年度の事業改編後の第1期に引き続く、第2期である。

2019年度は、アジア・アフリカ諸国16カ国の若手行政官および日本在住者4名の計20名を受入れ、10月23日より第2期イデアス研修プログラムを開始した。「国際貿易・投資・金融」、「日本の産業と企業」、「産業の競争力」などの領域を中心に計80コマの講義を実施したほか、ロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）の教授を招聘しての集中講義を実施した。

また、経済産業省中部経済産業局やトヨタ自動車を往訪し、地方経済の発展やものづくり等についても実地で学んだ。今期のプログラムでは初めての試みとして、国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）との合同講義や、世界銀行東京事務所の協力を得て「生産性向上」をテーマにした世界銀行マレーシア事務所とのライブ中継による講義を行うなど、国際機関と連携した取組も行った。また、外国人研修生が県内の高校9校を訪問し、自国の社会・文化等に関する授業を行う幕張アジアアカデミー事業「アジア総合学科」を千葉県庁と共催で実施し、地元への貢献に努めた。

#### 2. 第2期研修生の募集・研修

##### (1) 募集

① 第2期研修生として、16カ国の政府関係機関から合計16名の行政官を招聘した。

現地における募集・選考は、各国のJETRO海外事務所が担当した。海外事務所の所在しないネパール、モンゴルについては、研究交流・研修課が応募者との面談を現地において実施した。

##### 【イデアス外国人研修生（16名）の国別・所属機関】

インド（国立インド変革委員会）、インドネシア（商業省）、ウズベキスタン（投資貿易省）、カンボジア（商業省）、ケニア（投資庁）、コートジボワール（経済・財務省）、タイ（商務省）、ナイジェリア（投資促進委員会）、ネパール（連邦制度・総務省）、パキスタン（財務・歳入・経済問題省）、バングラデシュ（財務省国家歳入庁）、フィリピン（投資委員会）、ミャンマー（商業省）、モザンビーク（外務協力省）、モンゴル（財務省）、ラオス（工業・商業省）、

VI. イデアス研修事業

② 上記①の外国人研修生に加え、日本国内から大学院生等がイデアス国内研修生（4名）として参加した。このうち3名は、東京外国語大学大学院との覚書に基づく受入である。

(2) 講義

2019年10月23日から2020年1月28日までの3.5カ月間に、計80コマの授業を行った。

講義実績：全80コマ（1コマ90分）

講義名	講師	所属	コマ
<b>国際貿易・投資・金融</b>			<b>20</b>
貿易投資の理論とアジア太平洋経済	石戸光	千葉大学 法政経学部総合政策学科 教授	4
WTOにおける途上国特惠制度	箭内彰子	新領域研究センター 法・制度研究グループ長代理	1
グローバルバリューチェーンと経済発展	孟渤	新領域研究センター 主任調査研究員	1
貿易と開発	田中清泰	開発研究センター 経済統合研究グループ	2
経済地理シミュレーションモデルによるインフラストラクチャーの経済効果分析	熊谷聡	開発研究センター 経済地理研究グループ長	1
開発途上国の都市化と経済成長	橋口善浩	開発研究センター 経済モデル研究グループ	1
日本企業による工場の複数配置	植木靖	開発研究センター 経済統合研究グループ	1
投資促進政策・経済特区・物流	石田正美	開発研究センター 上席主任調査研究員	2
東アジアの経済統合	梅崎創	開発研究センター 経済統合研究グループ長	1
東アジアの生産ネットワーク	黒岩郁雄	開発研究センター 上席主任調査研究員	2
規制/プライベート・スタンダードと国際貿易	道田悦代	新領域研究センター 環境・資源研究グループ	2
<b>【SIAP 合同講義】</b>			
貿易統計の基礎	清水誠	国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）副所長	1
貿易と投資におけるSDGs	坪田建明	開発研究センター 経済地理研究グループ	1
<b>日本の産業と企業（日本の開発経験）</b>			<b>10</b>

VI. イデアス研修事業

日本的経営	宮島英昭	早稲田大学 商学大学院 教授	3
財政の経済理論と実際	佐藤主光	一橋大学大学院 経済学研究科 教授	3
日本の経済、貿易、投資と ジェトロの活動	長島忠之	海外調査部 上席主任調査研究員	1
世界の貿易・投資の現状	米山洋	海外調査部 国際経済課長	1
社会開発・貧困の削減	佐藤寛	研究推進部 上席主任調査研究員	2
<b>産業の競争力</b>			<b>10</b>
企業の戦略：生産・マーケティング・革新	川上桃子 藤田麻衣  福西隆弘 丁可 安倍誠 清水達也	地域研究センター 次長 地域研究センター 東南アジアⅡ研究グループ長 地域研究センター アフリカ研究グループ長 開発研究センター 企業・産業研究グループ 新領域研究センター長 地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ長	6
ビジネスと人権	山田美和	新領域研究センター 法・制度研究グループ長	2
SDGs～誰も取り残さない開発のために必要なこと～	佐藤寛	研究推進部 上席主任調査研究員	2
<b>集中講義</b>			<b>10</b>
金融と開発	Ulrich Volz	Head of Department of Economics, SOAS, University of London (ロンドン大学東洋アフリカ研究所)	10
<b>ゼミナール</b>			<b>12</b>
論文指導	黒岩郁雄 武内進一 早川和伸 太田仁志  佐藤千鶴子	開発研究センター 上席主任調査研究員 新領域研究センター 上席主任調査研究員 開発研究センター 経済地理研究グループ 地域研究センター 南アジア研究グループ長代理 地域研究センター アフリカ研究グループ	11
東アジアの経済成長における貿易・投資	浦田秀次郎	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授	1
<b>特別講義（国内研修生は任意受講）</b>			<b>8</b>
米ランプ政権のイラン核合意離脱とその後の展開	鈴木均	地域研究センター 中東研究グループ	1
エジプトの外交政策	Darwish	地域研究センター 中東研究グループ	1

VI. イデアス研修事業

	Housam		
革命キューバ：隣り合う超大国抗して	山岡加奈子	地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ長代理	1
中国の都市化：農民から経営者へ	任哲	新領域研究センター ガバナンス研究グループ	1
日本は西洋に如何にキャッチアップしたか	深尾京司	アジア経済研究所 所長	1
【所内公開講義】 The Trade dimension to the Rugby World Cup and current issues at the WTO	Michael Roberts	Head, Aid for Trade Unit, Development Division, World Trade Organization (世界貿易機関/WTO)	1
【世界銀行東京事務所共催講義①】 Productivity growth: patterns and determinants across the world	Young Eun Kim	Economist, Development Research Group, World Bank (世界銀行)	1
【世界銀行東京事務所共催講義②】 Digital Economy in Africa	Tim Kelly	Lead ICT Policy Specialist, Transport & ICT, World Bank (世界銀行)	1
日本語（外国人研修生のみ）			10
基礎日本語		(一財) 日本国際協力センター	10

(3) 実地研修及び国際交流活動

外国人研修生の我が国の社会や産業の理解を目的として、実地研修を2回実施した。また、千葉県庁との共催事業として千葉県内の高校（9校）において各国事情に関する講義を実施するとともに、(財)ちば国際コンベンションビューロー協力の下に県内のボランティア家庭（16世帯）でのホームステイを行った。

その他の活動実績（国内研修旅行、近郊訪問、外国人研修生による国際交流）

実施日	内容
11/6	近郊視察 東京証券取引所、日本銀行貨幣博物館
11/16～11/17 11/23～11/24	ホームステイプログラム 千葉県内ボランティア家庭に滞在
11/20・11/22	幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」 千葉県庁との共催により、県内の高校（9校）において、各国事情を紹

VI. イデアス研修事業

	介する講義の実施や、各校での国際交流活動に参加した。
11/28～11/29	国内研修旅行（東海地域） 訪問先：トヨタ自動車（株）、アイシン精機（株）、 経済産業省中部経済産業局、ジェトロ名古屋貿易情報センター

3. イデアス研修生審議委員会の活動

外国人研究生及び国内研修生の選考並びに修了認定等の審議のため4回開催した。

4. フォローアップ研修の実施

外国人研修生向け短期研修プログラムとして、日本国内においてフォローアップ研修を3月に実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。

5. 受入実績

研修生受入実績

開発スクール（イデアス）			
日本人研修生		外国人研修生	
第1期（1990/10～1991/9）	13		
第2期（1991/10～1992/9）	12	第1期（1991/10～1992/3）	8
第3期（1992/10～1993/9）	11	第2期（1992/10～1993/3）	11
第4期（1993/10～1994/9）	11	第3期（1993/10～1994/3）	13
第5期（1994/10～1995/9）	11	第4期（1994/10～1995/3）	15
第6期（1995/10～1996/9）	11	第5期（1995/10～1996/3）	15
第7期（1996/10～1997/9）	11	第6期（1996/10～1997/3）	17
第8期（1997/10～1998/9）	11	第7期（1997/10～1998/3）	15
第9期（1998/10～1999/9）	11	第8期（1998/10～1999/3）	15
第10期（1999/10～2000/9）	11	第9期（1999/10～2000/3）	15
第11期（2000/9～2001/7）	11	第10期（2000/10～2001/3）	13
第12期（2001/9～2002/7）	9	第11期（2001/10～2002/3）	15
第13期（2002/9～2003/7）	10	第12期（2002/10～2003/3）	15
第14期（2003/9～2004/7）	11	第13期（2003/10～2004/3）	15
第15期（2004/9～2005/7）	12	第14期（2004/10～2005/3）	16
第16期（2005/9～2006/7）	10	第15期（2005/10～2006/3）	15
第17期（2006/9～2007/7）	11	第16期（2006/10～2007/3）	14
第18期（2007/9～2008/7）	11	第17期（2007/10～2008/3）	21
第19期（2008/9～2009/7）	9	第18期（2008/10～2009/3）	15
第20期（2009/9～2010/7）	13	第19期（2009/10～2010/3）	17

VI. イデアス研修事業

第 21 期 (2010/9～2011/7)	14	第 20 期 (2010/10～2011/3)	14
第 22 期 (2011/9～2012/7)	10	第 21 期 (2011/10～2012/3)	11
第 23 期 (2012/9～2013/7)	9	第 22 期 (2012/10～2013/3)	12
第 24 期 (2013/9～2014/7)	10	第 23 期 (2013/10～2014/3)	17
第 25 期 (2014/9～2015/7)	9	第 24 期 (2014/10～2015/3)	17
第 26 期前期 (2015/9～2016/3)	14	第 25 期 (2015/10～2016/3)	18
第 26 期後期 (2016/3～2016/7)	13	第 26 期 (2016/10～2017/3)	18
第 27 期前期 (2016/9～2017/3)	9	第 27 期 (2017/10～2018/3)	18
第 27 期後期 (2017/3～2017/7)	9		
第 28 期前期 (2017/9～2018/3)	14		
第 28 期後期 (2018/3～2018/7)	12		
小計	(309)		(405)
イデアス研修プログラム			
国内研修生		外国人研修生	
第 1 期 (2018/10～2018/1)	5	第 1 期 (2018/10～2018/1)	17
第 2 期 (2019/10～2020/1)	4	第 2 期 (2019/10～2020/1)	16
総合計	318	総合計	438

外国人研修生国別受入実績 (1991～2019 年度)

国 名	受入人数	国 名	受入人数
バングラデシュ	24	スリランカ	22
ブータン	16	タイ	39
カンボジア	24	東ティモール	1
中国	23	ウズベキスタン	15
インド	14	ベトナム	25
インドネシア	29	ブルネイ	1
ラオス	24	南アフリカ	5
マレーシア	6	タンザニア	6
フィリピン	31	コートジボワール	6
モンゴル	26	ケニア	5
ミャンマー	30	ナイジェリア	6
ネパール	30	モザンビーク	5
パキスタン	23	エジプト	1
		エチオピア	1

(計 438 名)